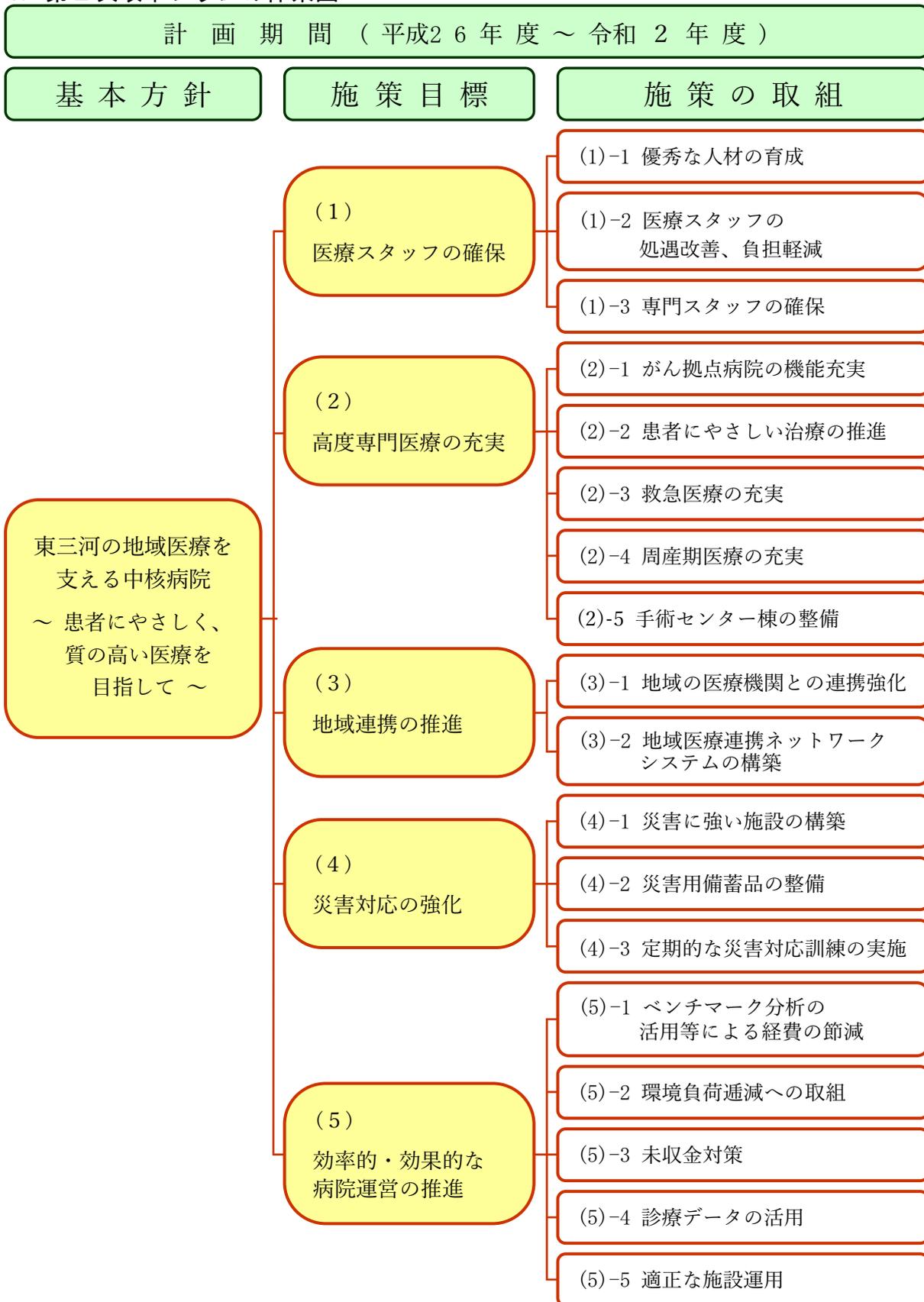


第2次豊橋市民病院改革プランの取組状況

目 次

	頁
1. 第2次改革プランの体系図	3
2. 第2次改革プランの主な取組	4
3. これまでの重点目標と取組項目	13
4. 事業計画	14
(1) 収益的収支	〃
(2) 資本的収支	16
(3) 定員管理に関する計画	17

1. 第2次改革プランの体系図



2. 第2次改革プランの主な取組

(1) 医療スタッフの確保

(1)-1 優秀な人材の育成

取組項目	患者ニーズに対応した医療を実施するため、自ら次世代を担う優秀な人材の育成、確保に努めます。また、基幹型臨床研修病院として、より質の高い研修プログラムを実施します。																										
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修指導医の養成 ○シミュレーション研修センターの開設とシミュレータの購入（28年度～） ○初期臨床研修内容の充実により第三者評価機関からエクセレント賞を受賞 ○医療職の管理職を対象とした組織マネジメント研修の実施（元年度～） ○初期研修医の研修先病院の拡大（5病院→6病院）（2年度～） <p><研修医・指導医 医師数（年度末）></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">H26</th> <th style="width: 10%;">H27</th> <th style="width: 10%;">H28</th> <th style="width: 10%;">H29</th> <th style="width: 10%;">H30</th> <th style="width: 10%;">R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医</td> <td>33人</td> <td>33人</td> <td>35人</td> <td>34人</td> <td>35人</td> <td>38人</td> </tr> <tr> <td>指導医</td> <td>70人</td> <td>75人</td> <td>78人</td> <td>76人</td> <td>87人</td> <td>92人</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	研修医	33人	33人	35人	34人	35人	38人	指導医	70人	75人	78人	76人	87人	92人
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																					
研修医	33人	33人	35人	34人	35人	38人																					
指導医	70人	75人	78人	76人	87人	92人																					

(1)–2 医療スタッフの処遇改善、負担軽減

取組項目	地域の周産期医療を支える産婦人科医・小児科医など、過酷な勤務状況等にある医師や若手医師の処遇改善、女性医師の離職防止に努めるとともに、助産師や看護師、医療技術員等についても処遇改善を含めた職場環境を充実させ、医療の高度化や患者数に見合った医療スタッフの確保・充実を図ります。また、医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者の充実に努めます。																																	
実施内容	<p>○医師事務作業補助者の増員による医師の負担軽減</p> <p>○病棟看護補助者の増員による看護師の負担軽減</p> <p>○分娩取扱手当の創設（26年度～）、夜間看護等手当の拡充（26～30年度）</p> <p>○院内保育所の保育内容の拡充（27年度～）、病児保育の実施（28年度～）</p> <p>○看護職員育児資金貸付制度の拡充（27年度～）</p> <p>○一部病棟における看護師の二交替制の導入（元年度～）</p> <p>○専攻医の正規職員化、研修医の任期付職員化（2年度～）</p> <p><医師数（年度末）></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>区 分</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>180人</td> <td>177人</td> <td>179人</td> <td>184人</td> <td>185人</td> <td>187人</td> </tr> </table> <p><医師事務作業補助者数（年度末）></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>区 分</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>29人</td> <td>32人</td> <td>40人</td> <td>45人</td> <td>46人</td> <td>46人</td> </tr> </table>						区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	人 数	180人	177人	179人	184人	185人	187人	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	人 数	29人	32人	40人	45人	46人	46人
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																												
人 数	180人	177人	179人	184人	185人	187人																												
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																												
人 数	29人	32人	40人	45人	46人	46人																												

(1)–3 専門スタッフの確保

取組項目	専門医、認定看護師などの専門スタッフを確保するとともに、外部講師の活用や外部研修への派遣など、研修・指導体制の充実を図り、必要な人材を育成し、チーム医療の推進を図ります。																																	
実施内容	<p>○専門医の確保</p> <p>○認定看護師の養成、特定行為看護師の養成</p> <p>○新専門医制度における4領域の研修プログラムの作成（29年度～） （4領域：内科・外科・小児科・産婦人科）</p> <p><専門医・認定看護師数（年度末）></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>区 分</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> </tr> <tr> <td>専 門 医</td> <td>106人</td> <td>107人</td> <td>109人</td> <td>105人</td> <td>123人</td> <td>114人</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>15人</td> <td>19人</td> <td>23人</td> <td>24人</td> <td>24人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>特定行為 看護師</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1人</td> <td>1人</td> <td>2人</td> </tr> </table>						区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	専 門 医	106人	107人	109人	105人	123人	114人	認定看護師	15人	19人	23人	24人	24人	25人	特定行為 看護師	—	—	—	1人	1人	2人
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																												
専 門 医	106人	107人	109人	105人	123人	114人																												
認定看護師	15人	19人	23人	24人	24人	25人																												
特定行為 看護師	—	—	—	1人	1人	2人																												

(2) 高度専門医療の充実

(2)-1 がん拠点病院の機能充実

取組項目	地域がん診療連携拠点病院として放射線治療体制を充実・強化するため、高度放射線棟の建設に伴い導入した強度変調放射線治療装置と検査精度の向上等に有効なPET-CTを活用するなど、がん診療体制の強化に努めます。				
実施内容	○高度放射線棟の開設（28年度～）				
	○PET-CT検査の実施（28年度～）				
	○※強度変調放射線治療（IMRT）の実施（29年度～）				
	○外来治療センターの拡張（29年度～）				
	<IMRT、PET-CT検査件数>				
	区 分	H28	H29	H30	R1
	I M R T	—	178件	938件	1,641件
	P E T - C T 検 査	346件	885件	1,210件	1,183件

※強度変調放射線治療（IMRT）：照射範囲内の放射線強度を計画的に変化させ、いろいろな方向から組み合わせることにより、腫瘍に限局した放射線照射を行い周囲の正常組織への被ばくを抑えた治療を行うことが可能となるもの

(2)-2 患者にやさしい治療の推進

取組項目	手術支援ロボットシステム等を活用した内視鏡手術を積極的に行い、患者にやさしく負担の少ない治療に努め、早期の社会復帰をサポートするなど医療ニーズに応じた治療を行います。								
実施内容	○手術支援ロボットシステムによる内視鏡手術の拡大								
	○保険適用拡大への対応（30年度～）								
	<手術支援ロボットによる実績>								
	手術式	診療科	保険適用	～H27	H28	H29	H30	R1	計
	前立腺悪性腫瘍手術	泌尿器科	H25	95件	56件	65件	61件	62件	339件
	子宮悪性腫瘍手術	産婦人科	H30	8件	7件	7件	64件	135件	221件
	直腸悪性腫瘍手術	一般外科	H30	27件	11件	12件	15件	19件	84件
	胃悪性腫瘍手術	一般外科	H30	3件	6件	7件	19件	16件	51件
	腎悪性腫瘍手術	泌尿器科	R1	-件	2件	1件	8件	22件	33件
	膀胱悪性腫瘍手術	泌尿器科	H30	-件	-件	-件	6件	11件	17件
肺悪性腫瘍手術	呼吸器外科	—	-件	-件	-件	-件	2件	2件	
計			133件	82件	92件	173件	267件	747件	

(2)－3 救急医療の充実

取組項目	東三河で唯一の第三次救急医療機関としての役割を果たすため、コンビニ受診の自粛啓発や「かかりつけ医」制度の周知を行うなど、引き続き救急医療の確保に努めるとともに、今後も、重篤な患者の積極的な受け入れを行います。																										
実施内容	<p>○地域医療機関との機能分担及び相互連携の推進</p> <p>○「かかりつけ医」の有益性についての周知</p> <p>○救急車の適正な利用についての周知</p> <p>○救急外来センター診察室の拡張（28～29年度）</p> <p><※ウォークイン患者の割合></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ウォークイン率</td> <td>77.4%</td> <td>77.6%</td> <td>74.9%</td> <td>73.4%</td> <td>72.4%</td> <td>72.5%</td> </tr> <tr> <td>ウォークイン入院率</td> <td>10.8%</td> <td>12.2%</td> <td>14.4%</td> <td>15.0%</td> <td>15.6%</td> <td>16.3%</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	ウォークイン率	77.4%	77.6%	74.9%	73.4%	72.4%	72.5%	ウォークイン入院率	10.8%	12.2%	14.4%	15.0%	15.6%	16.3%
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																					
ウォークイン率	77.4%	77.6%	74.9%	73.4%	72.4%	72.5%																					
ウォークイン入院率	10.8%	12.2%	14.4%	15.0%	15.6%	16.3%																					

※ウォークイン患者：救急車及びドクターヘリ・防災ヘリ以外で来院した患者

(2)－4 周産期医療の充実

取組項目	総合周産期母子医療センターとして、ハイリスク妊婦・新生児を積極的に受け入れ、高度な専門医療と看護を提供します。また、正常分娩への対応として助産師が主体となるバースセンターの充実を図ります。																																															
実施内容	<p>○総合周産期母子医療センター、バースセンターの開設（26年度～）</p> <p>○新生児医療センターの拡張（28～29年度）</p> <p>○点滴のみ行うセミバース、うつ予防の産後ケアの実施（30年度～）</p> <p>○マタニティヨガ講座の実施（30年度～）</p> <p><総合周産期母子医療センター・バースセンター実績></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送受入数</td> <td>231件</td> <td>235件</td> <td>209件</td> <td>186件</td> <td>207件</td> <td>234件</td> </tr> <tr> <td>新生児搬送受入数</td> <td>97件</td> <td>119件</td> <td>119件</td> <td>131件</td> <td>128件</td> <td>115件</td> </tr> <tr> <td>極・超低出生体重児入院数</td> <td>38件</td> <td>52件</td> <td>42件</td> <td>33件</td> <td>39件</td> <td>35件</td> </tr> <tr> <td>助産師主体分娩数</td> <td>4件</td> <td>6件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> <td>8件</td> <td>9件</td> </tr> <tr> <td>里帰り分娩数</td> <td>67件</td> <td>73件</td> <td>103件</td> <td>101件</td> <td>90件</td> <td>71件</td> </tr> </tbody> </table>						区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	母体搬送受入数	231件	235件	209件	186件	207件	234件	新生児搬送受入数	97件	119件	119件	131件	128件	115件	極・超低出生体重児入院数	38件	52件	42件	33件	39件	35件	助産師主体分娩数	4件	6件	8件	9件	8件	9件	里帰り分娩数	67件	73件	103件	101件	90件	71件
区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1																																										
母体搬送受入数	231件	235件	209件	186件	207件	234件																																										
新生児搬送受入数	97件	119件	119件	131件	128件	115件																																										
極・超低出生体重児入院数	38件	52件	42件	33件	39件	35件																																										
助産師主体分娩数	4件	6件	8件	9件	8件	9件																																										
里帰り分娩数	67件	73件	103件	101件	90件	71件																																										

(2)－5 手術センター棟の整備

取組項目	内視鏡手術件数の増加や最新の医療技術に対応するため、新たに高機能な内視鏡手術室のほか、外科手術とカテーテル治療を同時に実施できる※ハイブリッド手術室を整備します。	
実施内容	○手術センター棟の開設（元年度～）	
	○ハイブリッド手術の実施（元年度～）	
	<ハイブリッド手術件数>	
	区 分	R1
	腹部大動脈ステントグラフト内挿術	14 件
	脳動静脈奇形摘出術など	3 件

※ハイブリッド手術室：手術台と血管撮影装置を組み合わせた手術室のことで、手術センターと血管撮影室、それぞれの場所に設置されていた機器を組み合わせることにより、最新の医療技術への対応が可能となる手術室

(3) 地域連携の推進

(3)－1 地域の医療機関との連携強化

取組項目	※地域医療支援病院として、患者が安心して地域で総合的かつ継続的に治療・療養が受けられるよう、患者総合支援センターを拠点として、地域の医療機関及び福祉介護関係機関との一層の連携強化を図ります。						
実施内容	○地域連携登録医制度や開放型病床等の共同利用の推進						
	○紹介・逆紹介率の向上						
	○地域医療支援病院の承認（26年度～）						
	○高度医療機器の共同利用における環境の充実と利便性の向上（30年度～）						
	○市外の療養型医療施設との連携強化（30年度～）						
	○老人保健施設への訪問など医療機関訪問の充実（30年度～）						
	○入退院支援センターの拡張（元年度）						
	<地域連携登録医数、開放型病床利用率>						
	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	地域連携登録医数	403 人	409 人	428 人	449 人	464 人	473 人
	開放型病床利用率	14.3%	31.0%	20.3%	34.0%	12.2%	43.0%

※地域医療支援病院：紹介患者に対する医療提供、医療機器等の共同利用の実施等を通じて、かかりつけ医等を支援する病院をいい、患者紹介率など一定の条件を満たす病院を知事が承認するもの

(3)-2 地域医療連携ネットワークシステムの構築

取組項目	正確な情報に基づいた質の高い安全な医療を提供するため、患者の診療情報を紹介元・紹介先の医療機関と共有できる地域医療連携ネットワークシステムを構築し、地域医療の強化に努めます。		
実施内容	○診療情報遠隔参照システムの導入（28年度～）		
	○利用登録医師、登録患者の確保に向けた積極的なPR（29年度～）		
	○地域医療連携ネットワークシステムの導入（30年度～）		
	<利用登録医師数、登録患者数>		
	区分	H30	R1
	利用登録医師数	36人	44人
	登録患者数	224人	532人

(4) 災害対応の強化

(4)-1 災害に強い施設の構築

取組項目	災害拠点病院としての機能を強化するため、施設・設備の耐震化や浸水対策を進め、災害に強い病院施設の構築に努めます。
実施内容	○特別高圧受変電設備の設置、非常用発電設備の更新・増設（26～28年度）
	○高架水槽（飲料用）の耐震補強（26～27年度）
	○サーバ室の免震化（28～29年度）
	○玄関ホール特定天井、エレベータなどの耐震改修（29～30年度）
	○飛散防止フィルムの貼付（元年度～）

(4)-2 災害用備蓄品の整備

取組項目	災害拠点病院としての機能を強化するため、非常食の拡充や災害用医療機器を整備します。		
実施内容	○主食のバリエーションを増やすなどの非常食の拡充（26年度～）		
	○移動型X線装置の導入（26年度）		
	○高度放射線棟内に災害用備蓄倉庫を整備（28年度）		
	<非常食の内訳>		
	区分	想定人数	期間等
入院患者用	600人	5日分	
外来患者（帰宅困難者）用	300人	1食分	
職員用	700人	5日分	

(4)－3 定期的な災害対応訓練の実施

取組項目	災害時における対応の強化を図るため、業務継続計画（BCP）の見直しを行い、定期的な災害対応訓練を実施するとともに、必要に応じて災害対応マニュアルを改訂します。
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○災害対策本部の設置訓練、病棟患者避難誘導訓練等の実施（26年度～） ○外部DMATの受入れ訓練の実施（26年度） ○IT-BCPに基づく病院総合情報システムの障害対応訓練の実施（27年度） ○熊本地震へのDMAT隊の派遣（28年度） ○新たな被害想定や最新の施設状況を反映させたBCPへの改訂（元年度）

(5) 効率的・効果的な病院運営の推進

(5)－1 ベンチマーク分析の活用等による経費の節減

取組項目	※ベンチマーク分析の活用や在庫管理の徹底等により、材料費や資産購入費など経費の節減を図ります。												
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○診療材料等の購入価格抑制によるコスト節減 ○後発薬品の使用拡大（H26：61%→R1：86%）によるコスト節減 <p><26～元年度実施のコスト節減による元年度効果額></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">診療材料</td> <td style="text-align: right;">▲ 106,880 千円</td> <td style="padding-left: 20px;">(目標</td> <td style="text-align: right;">▲ 60,000 千円)</td> </tr> <tr> <td>後発薬品</td> <td style="text-align: right;">▲ 121,800 千円</td> <td>(目標</td> <td style="text-align: right;">▲ 30,000 千円)</td> </tr> <tr> <td>医療器械</td> <td style="text-align: right;">▲ 11,770 千円</td> <td>(目標</td> <td style="text-align: right;">▲ 5,000 千円)</td> </tr> </table>	診療材料	▲ 106,880 千円	(目標	▲ 60,000 千円)	後発薬品	▲ 121,800 千円	(目標	▲ 30,000 千円)	医療器械	▲ 11,770 千円	(目標	▲ 5,000 千円)
診療材料	▲ 106,880 千円	(目標	▲ 60,000 千円)										
後発薬品	▲ 121,800 千円	(目標	▲ 30,000 千円)										
医療器械	▲ 11,770 千円	(目標	▲ 5,000 千円)										

※ベンチマーク分析：他病院と「提供する医療の質」「運営効率」「コスト」などを比較分析し、自らの活動を評価したり、改善点を発見するために用いられる手法

(5)－2 環境負荷逡減への取組

取組項目	職員一人ひとりが環境負荷の逡減に率先して取り組むことにより、経費の逡減を図ります。また、高効率な設備への更新など省エネルギー化に努め、環境にやさしい施設を構築します。							
実施内容	○既設の照明器具のLEDタイプへの更新による消費電力の逡減							
	<LED照明への更新（令和2年度は計画）>							
	区分	H26・27	H28	H29	H30	R1	R2	計
	更新数	1,513台	970台	810台	967台	877台	700台	5,837台
	節電効果	18万kWh	15万kWh	15万kWh	15万kWh	19万kWh	12万kWh	94万kWh
進捗率	25.9%	42.5%	56.4%	73.0%	88.0%	100.0%	—	

(5)-3 未収金対策

取組項目	<p>無保険者や生活困窮者に対して、早期に社会保障制度の活用を促し、未収金の発生防止に努めます。また、休日訪問実施など効果的な催告業務に努めます。</p>																																																																						
実施内容	<p>○高額療養費制度（限度額適用認定証）の説明の徹底 ○処理困難案件の豊橋市債権管理課への移管 ○居所不明者に対する住民票調査の実施（27年度～） ○平日夜間における訪問催告の実施（28年度～） ○支払先にゆうちょ銀行を追加（29年度～） ○クレジットカードの分割払いなどの支払方法の拡大（30年度～）</p> <p><未収金の状況（個人負担分）></p> <table border="1" data-bbox="424 831 1353 1245"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>年間調定額 A</th> <th>Aの翌年度末未収金額 B</th> <th>未収金の割合 B ÷ A</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>3,459,204 千円</td> <td>38,655 千円</td> <td>1.12%</td> </tr> <tr> <td>H26</td> <td>3,549,761 千円</td> <td>37,994 千円</td> <td>1.07%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,621,147 千円</td> <td>42,015 千円</td> <td>1.16%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>3,614,637 千円</td> <td>55,318 千円</td> <td>1.53%</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>3,738,013 千円</td> <td>44,854 千円</td> <td>1.20%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>3,839,907 千円</td> <td>43,712 千円</td> <td>1.14%</td> </tr> </tbody> </table> <p><債権管理課への移管及び収入実績></p> <table border="1" data-bbox="424 1301 1353 1715"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移管実績</th> <th colspan="2">収入実績</th> </tr> <tr> <th>件数</th> <th>金額</th> <th>件数</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>189 件</td> <td>39,516 千円</td> <td>73 件</td> <td>3,367 千円</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>189 件</td> <td>40,200 千円</td> <td>91 件</td> <td>5,604 千円</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>127 件</td> <td>24,065 千円</td> <td>74 件</td> <td>4,224 千円</td> </tr> <tr> <td>H29</td> <td>13 件</td> <td>2,143 千円</td> <td>12 件</td> <td>517 千円</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>567 件</td> <td>75,283 千円</td> <td>214 件</td> <td>6,817 千円</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>403 件</td> <td>68,718 千円</td> <td>170 件</td> <td>6,851 千円</td> </tr> </tbody> </table>				区分	年間調定額 A	Aの翌年度末未収金額 B	未収金の割合 B ÷ A	H25	3,459,204 千円	38,655 千円	1.12%	H26	3,549,761 千円	37,994 千円	1.07%	H27	3,621,147 千円	42,015 千円	1.16%	H28	3,614,637 千円	55,318 千円	1.53%	H29	3,738,013 千円	44,854 千円	1.20%	H30	3,839,907 千円	43,712 千円	1.14%	区分	移管実績		収入実績		件数	金額	件数	金額	H26	189 件	39,516 千円	73 件	3,367 千円	H27	189 件	40,200 千円	91 件	5,604 千円	H28	127 件	24,065 千円	74 件	4,224 千円	H29	13 件	2,143 千円	12 件	517 千円	H30	567 件	75,283 千円	214 件	6,817 千円	R1	403 件	68,718 千円	170 件	6,851 千円
区分	年間調定額 A	Aの翌年度末未収金額 B	未収金の割合 B ÷ A																																																																				
H25	3,459,204 千円	38,655 千円	1.12%																																																																				
H26	3,549,761 千円	37,994 千円	1.07%																																																																				
H27	3,621,147 千円	42,015 千円	1.16%																																																																				
H28	3,614,637 千円	55,318 千円	1.53%																																																																				
H29	3,738,013 千円	44,854 千円	1.20%																																																																				
H30	3,839,907 千円	43,712 千円	1.14%																																																																				
区分	移管実績		収入実績																																																																				
	件数	金額	件数	金額																																																																			
H26	189 件	39,516 千円	73 件	3,367 千円																																																																			
H27	189 件	40,200 千円	91 件	5,604 千円																																																																			
H28	127 件	24,065 千円	74 件	4,224 千円																																																																			
H29	13 件	2,143 千円	12 件	517 千円																																																																			
H30	567 件	75,283 千円	214 件	6,817 千円																																																																			
R1	403 件	68,718 千円	170 件	6,851 千円																																																																			

(5)－4 診療データの活用

取組項目	効率的な病院運営を推進するため、病院総合情報システムが蓄積している診療データを二次利用し、診療支援や臨床研究に活用するとともに、※医療の質評価指標（Q I）の活用による効果的な医療活動の改善に取り組みます。						
実施内容	○医師事務作業補助者によるデータ抽出の拡充（26年度～） ○医療の質評価指標（Q I）の結果を院内に周知（26年度～） ○抗菌薬使用ガイドラインに基づく抗菌薬選択の推進（29年度～） ○入院患者動向や経営情報など院内への情報提供の充実（30年度～） ○在院日数適正化の推進（30年度～） <データ抽出・症例登録件数>						
	区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1
	データ抽出	114 件	120 件	114 件	134 件	95 件	81 件
	症例登録	2,518 件	3,660 件	3,749 件	3,565 件	4,355 件	5,101 件

※医療の質評価指標：「退院後6週間以内の再入院率」など診療データを活用した医療の質を経年的に評価し、改善活動に用いる指標として一般社団法人日本病院会が推奨するもの

(5)－5 適正な施設運用

取組項目	入院患者の療養環境を向上させるため、6人部屋を簡易個室化した4人部屋にするなど、地域医療機関の動向や患者数に応じた病床数の適正化を図るとともに、食事の改善など患者満足度の向上に努めます。また、施設の適正な保全・管理を行うファシリティマネジメントの推進に努めます。
実施内容	○看護師公舎（若葉寮）の解体及び跡地の売却（26～27年度） ○6人部屋10室の簡易個室化による病床数の適正化（28年度～） ○デジタルサイネージ（電子掲示板）の増設（28年度） ○「携帯電話等への診察呼出し通知サービス」の導入（29年度～） ○患者満足度調査の結果報告書概要版の作成（30年度～） ○老朽化した職員公舎（井原寮）の解体（元年度）

3. これまでの重点目標と取組項目

施策目標	取組項目	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
(1) 医療スタッフの確保	1 優秀な人材の育成	実施	→					→	継続
	2 医療スタッフの処遇改善、負担軽減	実施	→					→	継続
	3 専門スタッフの確保	実施	→					→	継続
(2) 高度専門医療の充実	1 がん拠点病院の機能充実	実施	→					→	継続
	2 患者にやさしい治療の推進	実施	→					→	継続
	3 救急医療の充実	実施	→					→	継続
	4 周産期医療の充実	実施	→					→	継続
	5 手術センター棟の整備	—	—	実施設計	整備工事	→	稼働	継続	
(3) 地域連携の推進	1 地域の医療機関との連携強化	実施	→					→	継続
	2 地域医療連携ネットワークシステムの構築	調査	開発	→	構築	稼働	→	継続	
(4) 災害対応の強化	1 災害に強い施設の構築	実施	→					→	継続
	2 災害用備蓄品の整備	実施	→					→	継続
	3 定期的な災害対応訓練の実施	実施	→					→	継続
(5) 効率的・効果的な病院運営の推進	1 ベンチマーク分析の活用等による経費の節減	実施	→					→	継続
	2 環境負荷逓減への取組	実施	→					→	継続
	3 未収金対策	実施	→					→	継続
	4 診療データの活用	実施	→					→	継続
	5 適正な施設運用	実施	→					→	継続

4. 事業計画

(1) 収益的収支

① 収支計画（税抜き） 上段()書：計画、下段：決算 (R2:予算) (単位：百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
収 入	入院収益	(16,308) 15,685	(16,486) 16,058	(17,425) 15,929	(17,284) 16,370	(17,402) 16,584	(18,017) 17,730	(18,278) 18,592
	外来収益	(7,152) 7,286	(7,195) 8,035	(8,369) 8,421	(8,866) 8,797	(8,951) 9,778	(9,039) 11,390	(9,091) 12,484
	国県補助金	(71) 63	(71) 64	(70) 63	(65) 59	(65) 70	(65) 74	(65) 67
	一般会計 繰入金	(1,699) 1,673	(1,581) 1,622	(1,478) 1,398	(1,565) 1,549	(1,634) 1,590	(1,899) 1,556	(1,688) 1,537
	その他収益	(1,504) 1,579	(1,470) 1,493	(1,476) 1,467	(1,475) 1,478	(1,392) 1,409	(1,370) 1,397	(1,369) 1,420
	特別利益	(168) 192	(164) 182	(195) 195	(206) 206	(455) 449	(432) 484	(514) 574
	計	(26,902) 26,478	(26,967) 27,454	(29,013) 27,473	(29,461) 28,459	(29,899) 29,880	(30,822) 32,631	(31,005) 34,674
支 出	人件費	(11,329) 10,771	(11,942) 11,346	(12,740) 11,953	(12,789) 12,336	(12,813) 12,566	(13,130) 13,053	(13,086) 13,765
	材料費	(7,117) 6,997	(7,213) 7,959	(8,719) 7,932	(8,878) 8,503	(8,966) 9,335	(9,289) 11,151	(9,497) 11,794
	経費	(3,634) 3,518	(3,719) 3,439	(3,820) 3,481	(3,988) 3,667	(3,994) 3,667	(4,011) 3,971	(4,036) 4,502
	減価償却費等	(2,417) 2,373	(2,668) 2,044	(2,427) 2,379	(2,824) 2,657	(2,791) 2,666	(2,799) 2,619	(2,682) 2,597
	支払利息	(596) 593	(551) 549	(527) 505	(518) 462	(415) 414	(366) 364	(313) 313
	その他費用	(572) 510	(496) 574	(580) 544	(611) 591	(601) 634	(683) 860	(631) 1,023
	特別損失	(5,510) 5,467	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 203	(0) 81
	計	(31,175) 30,229	(26,589) 25,911	(28,813) 26,794	(29,608) 28,216	(29,580) 29,282	(30,278) 32,211	(30,245) 34,075
収支差引	(▲4,273) ▲3,751	(378) 1,543	(200) 679	(▲147) 243	(319) 598	(544) 410	(760) 599	
会計制度変更 に伴う修正	(9,960) 9,443	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	
未処分利益剰余金 (または未処理欠損金)	(▲2,227) ▲1,826	(411) 2,565	(1,222) 1,701	(875) 2,783	(1,194) 2,325	(1,419) 1,677	(1,635) 1,866	
剰余金の処分	(2,260) 2,848	(0) 1,543	(200) 678	(0) 1,759	(319) 1,301	(544) 410	(760) 599	

② 数値目標 上段()書：計画、下段：決算 (R2:予算)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
病床数 (床)	(820) 820	(820) 820	(800) 800	(800) 800	(800) 800	(800) 800	(800) 800
1日平均入院患者数(人)	(730) 708	(730) 707	(730) 692	(730) 711	(730) 690	(730) 709	(730) 730
患者1人1日当り入院収益 (税抜き・円)	(61,200) 60,677	(61,700) 62,064	(65,400) 63,025	(64,870) 63,068	(65,310) 65,894	(67,430) 68,340	(68,600) 69,780
1日平均外来患者数(人)	(1,900) 1,985	(1,900) 1,995	(1,900) 1,891	(1,900) 1,889	(1,900) 1,934	(1,900) 2,002	(1,900) 2,000
患者1人1日当り外来収益 (税抜き・円)	(15,430) 15,042	(15,580) 16,577	(18,130) 18,325	(19,120) 19,081	(19,310) 20,716	(19,500) 23,700	(19,690) 25,690
※1) 経常収支比率 (%)	(104.2) 106.2	(100.8) 105.3	(100.1) 101.8	(98.8) 100.1	(99.6) 100.5	(100.4) 100.4	(100.8) 100.3
※2) 医業収支比率 (%)	(-) 102.2	(-) 102.2	(99.1) 100.9	(97.2) 98.1	(97.2) 98.2	(96.8) 98.6	(97.8) 99.2
※3) 職員給与比率 (医業収益比・%)	(46.2) 44.8	(48.2) 45.0	(47.1) 46.8	(46.6) 46.7	(46.4) 45.5	(46.3) 42.9	(45.7) 42.5
一般病床利用率 (%)	(89.0) 88.0	(89.0) 87.9	(91.3) 88.3	(91.3) 90.7	(91.3) 87.9	(91.3) 90.5	(91.3) 91.3
平均在院日数 (日)	(13.8) 13.3	(13.6) 12.7	(12.7) 12.8	(12.6) 12.5	(12.5) 11.5	(12.4) 11.7	(12.3) 11.6
手術件数 (件)	(7,700) 8,113	(7,700) 8,179	(8,200) 7,787	(8,200) 7,863	(8,200) 8,151	(9,000) 8,360	(9,400) -
内：内視鏡手術件数(件)	(700) 1,206	(700) 1,288	(1,300) 1,255	(1,300) 1,268	(1,300) 1,436	(1,400) 1,499	(1,500) -
放射線治療件数 (件)	(11,000) 8,455	(11,000) 8,463	(8,400) 9,876	(9,600) 10,542	(10,800) 13,236	(12,000) 14,110	(12,000) -
※4) 院内がん登録者数 (人)	(2,100) 2,088	(2,100) 2,253	(2,200) 2,340	(2,300) 2,308	(2,300) 2,454	(2,300) 2,551	(2,300) -
救急からの入院患者数 (人)	(5,700) 5,695	(5,700) 6,130	(5,800) 5,972	(5,800) 6,532	(5,800) 6,712	(5,800) 6,864	(5,800) -
分娩件数 (件)	(1,200) 958	(1,300) 1,000	(1,000) 933	(1,000) 878	(1,000) 883	(1,000) 857	(1,000) -
内：帝王切開分娩件数 (件)	(520) 413	(530) 433	(440) 434	(440) 391	(440) 416	(440) 425	(440) -
病診連携 紹介率 (%)	(57.0) 62.5	(58.0) 65.0	(75.0) 75.3	(76.0) 77.1	(76.0) 79.8	(77.0) 81.9	(77.0) -
逆紹介率 (%)	(72.0) 82.1	(73.0) 83.5	(87.0) 87.0	(88.0) 84.6	(88.0) 80.0	(89.0) 85.2	(89.0) -

※1) 経常収支比率＝経常収益／経常費用×100で表され、100%以上であることが望ましい(経常黒字100%)

※2) 医業収支比率は、新公立病院改革ガイドラインに基づき、平成28年度から新たに追加

医業収支比率＝医業収益／医業費用×100で表され、100%以上であることが望ましい

※3) 職員給与比率＝賃金を含む人件費／医業収益×100で表され、40～50%であることが望ましい

※4) 院内がん登録者数は、国立がん研究センターへ報告する暦年数値

(2) 資本的収支

① 収支計画 (税込み) 上段()書：計画、下段：決算 (R2:予算) (単位：百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	
収 入	企 業 債	(355) 0	(7,265) 2,062	(5,640) 5,449	(42) 38	(1,387) 1,370	(0) 0	(0) 0
	出 資 金	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0
	負 担 金	(960) 960	(917) 916	(947) 947	(975) 975	(1,264) 1,258	(1,300) 1,292	(1,384) 1,351
	固 定 資 産 売 却 代 金	(0) 0	(73) 73	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(8) 8
	投 資 回 収 金	(1) 4	(0) 3	(2) 9	(5) 8	(5) 11	(5) 12	(4) 9
	国 県 補 助 金	(0) 4	(0) 0	(0) 3	(0) 13	(0) 0	(0) 0	(0) 15
	計	(1,316) 968	(8,255) 3,054	(6,589) 6,408	(1,022) 1,034	(2,656) 2,639	(1,305) 1,304	(1,396) 1,383
支 出	建 設 改 良 費	(1,327) 1,012	(8,516) 2,948	(7,268) 6,957	(3,013) 2,754	(3,430) 3,166	(1,622) 1,313	(1,304) 1,646
	投 資	(36) 22	(36) 29	(51) 37	(50) 35	(49) 828	(50) 29	(49) 41
	償 還 金	(1,533) 1,533	(1,431) 1,431	(1,476) 1,476	(1,517) 1,517	(2,081) 2,067	(2,134) 2,121	(2,286) 2,271
	計	(2,896) 2,567	(9,983) 4,408	(8,795) 8,470	(4,580) 4,306	(5,560) 6,061	(3,806) 3,463	(3,639) 3,958
収 支 差 引	(▲1,580) ▲1,599	(▲1,728) ▲1,354	(▲2,206) ▲2,062	(▲3,558) ▲3,272	(▲2,904) ▲3,422	(▲2,501) ▲2,159	(▲2,243) ▲2,575	
補 填 財 源 使 用 額	(1,580) 1,599	(1,728) 1,354	(2,206) 2,062	(3,558) 3,272	(2,904) 3,422	(2,501) 2,159	(2,243) 2,575	
補 填 財 源 残 額	(2,212) 3,061	(2,737) 2,910	(3,866) 3,950	(2,475) 3,144	(1,338) 1,597	(980) 1,616	(986) 1,005	

② 企業債残高 上段()書：計画、下段：決算 (R2:予算) (単位：百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
総 額	(16,557) 16,202	(22,391) 16,833	(20,997) 20,806	(19,522) 19,326	(18,828) 18,629	(16,694) 16,508	(14,408) 14,237

③ 設備投資計画 上段()書：計画、下段：決算 (R2:予算) (単位：百万円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
病院改修等建設改良	(135) 101	(2,293) 2,152	(4,734) 4,469	(807) 741	(1,626) 1,514	(468) 320	(250) 366
医療機器等購入	(912) 911	(720) 796	(2,534) 2,488	(2,206) 2,013	(1,804) 1,652	(1,154) 993	(1,054) 1,280
合 計	(1,047) 1,012	(3,013) 2,948	(7,268) 6,957	(3,013) 2,754	(3,430) 3,166	(1,622) 1,313	(1,304) 1,646

(3) 定員管理に関する計画 上段()書：計画、下段：決算 (4/1 現在、単位：人)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
医 師	(181) 180	(182) 184	(182) 183	(184) 190	(184) 187	(184) 198	(184) 237
看 護 師	(742) 710	(743) 709	(743) 724	(748) 752	(750) 753	(754) 764	(754) 774
医療技術員	(172) 170	(178) 179	(181) 190	(199) 202	(201) 205	(204) 211	(204) 219
事務職員等	(54) 54	(54) 54	(53) 54	(59) 60	(63) 63	(65) 69	(66) 68
合 計	(1,149) 1,114	(1,157) 1,126	(1,159) 1,151	(1,190) 1,204	(1,198) 1,208	(1,207) 1,242	(1,208) 1,298

※実人員が計画を上回った要因

- ・ 医師、医療技術員:診療報酬の増加に直結するものであり、計画以上の確保も、経営面にプラス効果が期待できる
- ・ 看護師:育児休業者を含む
- ・ 事務職員等:育児休業者含む、経営企画室及び管理課研修担当新設により各1名増
- ・ 令和2年度に研修医を非常勤職員から任期付職員に変更したことにより医師(研修医)37名増